

砂川市少年の主張大会

主張全文紹介①

「大切なのは相手だけじゃない」

砂川学園9年 西 優樹奈



私は、人との関わり方について悩むことがありました。友達やクラスメートと話すときに、相手が自分のことをどう思っているのかが気になりすぎてしまい、なかなか自然にコミュニケーションをとることができなかったのです。「変なことを言って嫌われたらどうしよう」「今の発言で相手は嫌な気持ちになってないか」などを考えているうちに、自分の心のなかに見えない壁を作っていました。

その結果、自分の意見を言えなかったり、顔色をうかがって相手に合わせすぎてしまい、後から「ちゃんと言えよよかった」と後悔することもありました。本当は言いたいことがあるのに、相手に嫌われたくないという一方的な思いが強くなって、自分の気持ちを後回しにしていたことに気が付きました。しかし、この関係は本当に対等な関係と言えるのか疑問を持つようになりました。相手の気持ちばかりを気にして、自分のことを大切にしない関係は、どこかおかしいのではないかと私は思います。

私はこの関係を「相手と自分との尊厳のシーソー」に例えました。相手を大切にしようとするあまり、自分の尊厳を軽くしてしまうと、シーソーは大きく傾いてしまいます。反対に相手より自分を優先しすぎてしまっても傾いてしまいます。その場合、少数または複数人との関係は対等ではなくなってしまいます。

ここで、「人権」という言葉について考えてみましょう。人権とは、すべての人が生まれながらに持っていて、誰にも侵害されてはならない権利のことです。誰かだけが大切にされ続け誰かが我慢し続ける関係は本当の意味での平等とは言えないと思います。先程の私のような考え方では、尊厳のシーソーは釣り合わずどちらか一方に負担がかかってしまっています。

そこで私は、どのようにすれば相手を尊重しながら、自分のことをないがしろにしないような関係を築けるのか考えてみました。

人と関わる中で大切なのは、相手だけでなく自分の心も同じくらい大切にすることだと思います。相手の意見を尊重することはとても大切なことですが、自分の気持ちや考えを大切にすることも、同じくらい重要だと考えます。どちらか一方を犠牲にするのではなく、両方が同じ重さで平等であることで、良い関係が築けるのではないのでしょうか。

人権は、特別な人だけのものではなく、私たち一人一人が、日常の中で守っていくものだと思います。相手を大切にすることと同時に、自分自身の心をも守ることが、人権を尊重することにつながると考えます。

私はこれから、友達と何気ない会話の中で、相手の気持ちを考えながらも、自分の思いや意見を大切にしていきたいです。心の中につくってしまっていた見えない壁を少しずつなくし、相手だけでなく、「自分はどう感じているか」にも目を向けていこうと考えています。そして今後は、無理なことや納得できないことに対しては、小さいことから自分の意見を伝えられる勇気を持ちたいです。お互いを大切にできる関係を意識しながら、友達と話したり関わったりすることを楽しめるようにしていきます。